

ニシモリ伯日議連会長フェイスブック上での記念動画配信（6月18日）

麻生副総理（日伯議連会長）メッセージ

まず、新型コロナウイルス感染症で、お亡くなりになられた方々、ご遺族の皆さまに謹んで哀悼の意を表するとともに、罹患（りかん）されている方々に心よりお見舞い申し上げます。特に御国では感染被害が大きいと承知しており、心を痛めております。

日本はブラジルを、自由、民主主義、人権の尊重、法の支配といった基本的価値を共有する戦略的グローバル・パートナーとして重視しています。ブラジルと日本の友好関係の重要な礎になっているのが、なんとといっても、世界最大、約200万人のブラジルの日系社会と約20万人の在日ブラジル人コミュニティの存在です。

日本人移住者及び日系人は、移住後に大変な苦労を味わいましたが、勤勉に努力を重ね、ブラジル社会の信頼を勝ち得て、ブラジルの発展に大きく寄与してきました。そのことに改めて敬意を表したいと思います。私は1960年代後半、ビジネスのためサンパウロに1年永住権を持って滞在したことがあります。その際、日系人が大勢おられるのを見て、日本にとってブラジルは非常に近い存在だと感じました。私も20代のことでした。近年もブラジルを訪問する度に日系人の皆さんの活躍に勇気づけられています。特に閣僚になられたり、軍でも将官になられた方に大勢お目にかかりました。また、日本でも機会があれば日系人の皆さんと会うことを楽しみにしており、2019年、当選して間もないカタギリ議員（伯日議連副会長）を河村先生と一緒にこの部屋でお迎えしたことをよく覚えております。

今年30周年を迎えた在日ブラジル人コミュニティも日本経済に貢献しています。彼らが地域社会に一層適応するための努力を、両国双方にて引き続き重ねていきたいと思っております。

今日の新型コロナウイルス禍の中で、両国国民は新しい日常、新しい経済の形を見出そうとしています。日本とブラジルをつなぐ人と人との絆を大切にしながら、日伯議連会長としてニシモリ伯日議連会長とも緊密に協力して、引き続き日ブラジル関係の一層の発展に尽力していきたいと思っております。

（了）